

漁港施設の老朽化緊急対策事業

【300百万円】

対策のポイント

漁港施設の長寿命化対策を実施することにより、災害に強い漁港・漁村地域の構築を推進します。

<背景／課題>

- ・「日本再生戦略」において、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方に基づき、災害に強い国土・地域づくりを推進することが必要であり、被害の軽減に向け、施設の耐震化等のハード整備と、ソフト対策に都組み合わせ、我が国全体の災害に対する能力の増強を推進することとされています。
- ・また、本年は4月の爆弾低気圧による風浪や豪雨・台風などにより漁港施設が損壊し、それに伴って漁船や漁港背後の公共施設等への二次被害も発生しています。
- ・このため、今後の冬期風浪、台風に備えて、漁港施設の長寿命化・更新を進め、災害に強い漁村地域の構築を推進します。

政策目標

漁港・漁村の防災・減災対策の推進
(20% (21年度) → 概ね65% (28年度))

<主な内容>

防災・減災対策の推進

300百万円

高潮、台風や冬期風浪により、老朽化した漁港施設が損壊し、漁港背後の住宅・公共施設に二次被害を及ぼすおそれのある漁港施設の長寿命化・更新を緊急的に実施します。

水産流通基盤整備事業	105百万円
水産生産基盤整備事業	185百万円
漁港施設機能強化事業	10百万円

国費率：1/2 等

事業実施主体：地方公共団体

[お問い合わせ先：水産庁計画課 (03-3502-8491 (直))]